

～最終章～

Go for it !!

豊中市立第五中学校
第62期 第3学年
学年通信第30号
2015年12月16日

人権フェスタ「ひまわり」を終えて

今年もこの時期に人権フェスタ「ひまわり」が行われました。この1年、五中で大事にしている10番目の教科「総合」の時間を使って学んできたことを、各学年工夫をこらして発表をしました。1年生は、スライドを使った発表と、「未来につなげる夢バトン」の歌を披露してくれました。62期も、1年生のときにこの歌と出会い、歌詞をちぎり絵で制作し発表しましたね。後輩たちへ受け継がれていく思いを確認できたのではないのでしょうか。



2年生は、湖畔学舎で取り組んだ行灯^{あんどん}によるメッセージ・ライトを披露してくれました。「63 キセイノコレマデトコレカラ」という文字が浮かび上がり、同時に2年生全員で文字を読みあげるという一体感のある発表でした。そして、スライドを使って、自分たちの生活を振り返っていました。仲間のことを考える、自分の意見を持つという強いメッセージが込められていました。

3年生は、この3年間、あるいは自分が歩んできたこの15年を振り返り、「群読」という形で、「62期宣言」を発表しました。一人ひとりがこれまでの自分、3年での自分、自分が大切にしてきた言葉、62期にとっての「夢バトン」、卒業・進路に向けて思うことを書き出し、議員会で意見をまとめ、クラス、学年で内容を共有・検討し、「62期宣言」が完成しました。この「62期宣言」をとっても迫力のある堂々とした姿で宣言してくれました。

宣言をしてくれた様子の写真と、みなさんの感想を抜粋して紹介します。

1年生の入学式から今までの等身大の様子ができて、目標と現実の差を理解していることがすごいなと思った。

1年生の歌を聞いて、「夢バトン」が1年生にも伝わっているんだなあと思えた。



一年生の発表では結構緊張しているのが分かったけど、頑張っていた。

1年生の発表を聞いて、校外学習、ふれ愛子どもカーニバルを通して、今まで喋らなかった子の意外な一面を知れたり、とても楽しかったと懐かしく思った。

2年生の文字の演出は息の合った演出だなと思った。たくさん練習したんだろうなと思った。

2年生は「仲間」「絆」を意識して、行っていたことがたくさんあったんだなあと思えた。



1年生も2年生も今の学年の課題にしっかりと向き合っていて、ここは3年生も見習わないといけないポイントだと思った。

1・2年生の課題を聞いていたら、3年生にも言えることだなと思ったこともあったし、人とつき合っていくということは、大人でも難しいことなんだなと思った。だから、ゲストティーチャーの人が言っていたように人にされていやなことは、人にしないようにしたり、人の気持ちを考えることを少しずつでもやっていけたらいいと思った。

改めて、クラス全員で卒業したいと思ったし、いつかクラス全員がパーフェクトにそろって集合写真も撮りたいなあと思った。



あと少しでそれぞれ進路に向かってバラバラになってしまうけど、これからも絆でつながれている62期でいたいと思った。

62期は練習ではちゃんとしないのに本番ではしっかりできるところが良いところだと改めて思えた。でも、練習からもできたらもっとすごいんじゃないかなとも思った。

ゲストティーチャーの先生や校長先生から、迫力があって涙が出そうだったと言われてうれしかった。

今日3年生全員集まることはできなかったけど、今日これなかった人の分までしっかり声を出すことができたと思う。今日みんなで作った決意文を忘れずにしっかりと勉強も仲間との時間も大切にしていきたいと思う。

練習のたびに「ちゃんとしてや。」「もう、静かにして。」などと注意したり、何回言ってもしゃべったりふざけたりして空気が悪くなることがあった。朝の最後のリハーサルでも思い通りに大声が出ていなくて本番が心配だった。でも、本番では、1人1人が集中していたのですごく雰囲気も良かったし、何よりまわりの人たちを感動させることができたので良かった。そして、3年生が始めた瞬間空気が変わって1・2年生が真剣に聞いてくれていたのが印象的だった。

議員として群読の発表のために、話し合いなど色んなことをがんばってきて本当に良かった。初めて全体練習をしたときは、どうなることかと思っていたけど、練習を重ねていくごとに、みんなどんどんうまくなって行って、本番では今までのどの練習よりもしっかりできていた。改めて62期の団結力を実感することができた。

「62期宣言」は言って終わりではなく、ちゃんと実行してから意味があると思うので、自分たちの課題に向かって、卒業までみんなで楽しく過ごしていきたいと思う。



発表前に並んで静かにするところがかなりしゃべっていたので、大切な場面で集中できないところを直せるようにしたい。62 期のスローガンの「団結・けじめ・絆」の「絆」はだいぶクリアしているように思うが、やはりまだ「けじめ」という点については駄目だなと思った。「けじめ」をつけるのは、1 年のときからの課題でもあるので、あと 3 ヶ月頑張っ改善していければと思う。

「ひまわり」に出るのが初めてで、何したらいいんか全然分からへんかったけど、みんなが教えてくれて、「やっぱええな」と思った。62 期生のやつ、初めて聞いて自分のトコは言われへんかったけど、みんなのやつすぐ近くで聞いて、鳥肌が立った。成長してない自分がおるって感じて恥ずかしかった。1, 2 年もすごかった。

少ない練習の中、なかなか真剣に取り組むことができない人がいて、直前まで不安の残る様子がありました。そんな様子を見かねて、議員が自分たちで声をかける場面が増え、それに応える 62 期の姿がありました。本番で成功させる！やり切る！ことももちろん大切ですが、そこに至るまでの練習、葛藤がやはり大切だと改めて感じさせられた取り組みでした。うまくできなかった練習の日があって、それをそのままにせず声をかけた人たちがいて、その声を受け止め答えてくれた人がいて、初めて成功した「群読」だったのではないのでしょうか。聞いてくれた保護者の方、ゲストの先生方、五中の先生方が感動したと言ってくれていましたね。62 期にとっても、とても達成感のある 1 日になったことだと思います。みなさんがこの日のこの瞬間の気持ちを大切に、残りの日々を過ごしてくれることを期待しています。

自分たちが一生懸命発表するのはもちろん大切なことですが、他の学年の発表に耳をかたむけることも大切で、これからの課題だと思いました。

